

収量・品質アップ 環境ストレス緩和で！

「ギガフォル」は、天然の海藻・植物原料より抽出した各種アミノ酸と輸送タンパク質、ビタミン等を豊富に含む、バイオステイミュラント※¹資材です。

乾燥・高温・低温等の幅広い環境ストレスに対する植物の耐性を高め、収量及び、品質の安定化が期待できます。

様々なストレス発生前に予防的散布で自己防御力を高める
総合ストレス軽減剤



ギガフォル®



ギガフォルの特徴

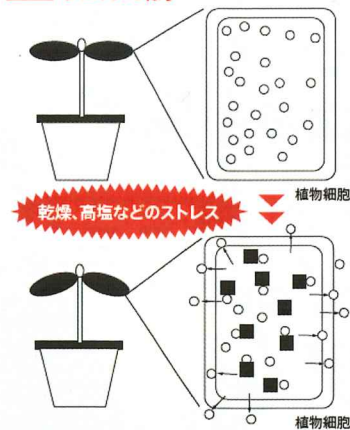
【特長1】ベタイン(プロリン、グリシン)を含み、乾燥・低温・高温等の環境ストレスを受ける前に、植物が本来有する環境適応能力を高めることで安定した生育を確保できます。

【特長2】各種アミノ酸(プロリン、グルタミン酸、アラニン、アスパラギン酸、システイン等)とビタミン類を含み、植物の栄養生長と窒素代謝を促進します。

【特長3】輸送タンパク質を含み作物への浸透移行性の効果が高いため、葉面からでも有効成分が速やかに吸収されて植物体内へ移行し、バイオスティミュラントとしての効果が発現します。

【特長4】ギガフォルと選択性除草剤との混用散布において、薬害が生じた場合でも、浸透移行性が高い為、主要栄養素の吸収促進により、作物の生育回復を早める傾向が見られます。

図1 水ストレス時に植物細胞内に蓄積するプロリンの様子



○:水分子 ■:プロリン

『蛋白質 核酸 酵素Vol.42No.6(1997)の図1:水ストレス時に植物細胞内に蓄積するプロリンの様子(共立出版)』より引用

ギガフォル使用方法

作物の種類を問わずに使用できますが、特に越冬(低温)や夏越し(高温・乾燥)する作型、および永年作物である果樹において、増収・品質向上効果が期待できます。

※他作物への使用法は、取扱い店にお問い合わせ下さい。

作物	散布時期	施肥量 (10a当り)	回数	散布方法 (希釈倍数)
桃	①幼果期 ③②の2週間後	200ml/回	3回以上	葉面散布 (500倍以上)
桜桃	①開花始期 ②落花期	300ml/回	2回以上	

低温ストレス
対策

低温障害発生が予想される場合には、①発生1～2日前②発生後1日以内
③2回目散布の7～10日後の計3回を上記の使用に追加してご使用下さい。

ギガフォル試験事例

高温乾燥耐性向上 ブドウ一年生苗木 島根大学



- 施用方法: ギガフォル200ml/10a、400ml/10a相当を葉面散布
- 施肥日: 7/14、8/3、8/23の3回
- 乾燥期間: 開始: 9/6～10/4 (当期間の灌水無く、気温35℃以上)

- ➡ ①約1か月間の水切り後ギガフォル区は生存率20～50%に改善
②ギガフォルの施用によって乾燥耐性の向上傾向を確認(3カ年継続)

低日照・過湿耐性向上 福島県内 桃



➡ 低日照・過湿の栽培条件下で
肥大と着色が促進

ギガフォル製品概要

保証成分		pH 100倍液	比重	外観	その他有効成分
窒素全量 2.0%	水溶性加里 6.5%	6.5	1.22	茶色	①ベタイン (プロリン、グリシン) ②低分子の各種アミノ酸(プロリン、グルタミン酸など) ③ビタミン類 (B5、PP、B1、B6) ④輸送タンパク質

使用上の注意

- ・農薬混用の際は事前に少量混用試験を行い、散布に問題ないことをお確かめください。
- ・強アルカリ性資材(銅剤、石灰硫黄合剤)との混用散布は避けてください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受けてください。
- ・施肥作業後は、洗顔やうがいをし、皮膚等への付着物を洗い流してください。
- ・開封後は短期間で使い切ってください。開封後に保管する場合、直射日光を避けて保管してください。
- ・希釈散布溶液を作成した場合、当日にご使用ください。